

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	「笑顔と思いやり」として3つの理念を掲げ、その中で地域に密着したグループホームを目指すことを含めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念を掲示し、ミーティング等で、より詳しく指導し実践している。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	理念の掲示。家族には地域とのかかわりを写真や手紙にて報告している。又近所の方には、散歩等を利用し交流を行っている。		
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	近くの幼稚園生や先生との交流は年に何度かある(クリスマス・七夕等)。又近所の方とも散歩中などに挨拶や会話を行っている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	近くの幼稚園生や先生との交流は年に何度かある(クリスマス・七夕等)。又近所の方とも散歩中に挨拶や会話を行っている。老人会などへは今は参加していない。		独居の高齢者の方がこの地域では多いとの事で、今後は施設を知ってもらい、近所付き合いができるよう工夫していきたい。
6		事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	特に実施していない。		運営推進会議を通じて、町内会の方や地域包括の方等に情報収集し、施設全体で地域の高齢者の方との交流を深めるよう努める。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価は全職員で実施。評価を通じて改善点などを上げ、実施に努めている。</p>		
8	5	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>今年度は実施していない。</p>		<p>定期的な会議を実施し、その中で地域の方や家族の意見を聞き、サービスの向上に努める。</p>
9	6	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>空き部屋が生じたときの相談、生活保護を受けている方に対しての金銭的な相談など、行っている。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>実施していない。</p>		<p>外部での研修の参加や、内部にて今後学ぶ機会を設けるように努める。</p>
11		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>全職員にて資料で学び、レポートの提出。介護拒否や言葉使い等、ミーティング等を通し、理解してもらっている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
12		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前より家族の方と、サービス内容や金額の事、退去に関する事などを説明し、更に契約の際に十分な説明をし、理解してもらった上で入居の契約を交わしている。</p>		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	職員は利用者さんが今抱えている不安等を日頃の会話の中で聞き、それを改善に向けて職員で解決できることは行っている。職員だけで解決出来ない事は、家族の方に報告・相談を行い、協力してもらっている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	受診の内容・行事の写真・お小遣いの内訳・職員の入社や退職は、毎月郵送にて報告している。また面会時も必要に応じて報告している。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	重要事項説明書に記載、入居の際に説明している。直接管理者や職員に伝わった場合は、すぐに内容・改善点などを書類作成し、職員に周知している。		
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のフロアー会議にて聞いている。管理者との面談を実施。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者さんの状態を優先し、勤務時間帯の変更を行っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員がいろいろな認知症の方と関われるように、約3ヶ月に1度のペースでフロアーの異動は行った。特に利用者さんにはダメージを与えることは無く、フロアーが違って、交流を交わしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修については計画は特に立ててはいないが、研修内容によって参加職員を経営者・管理者で相談し、積極的に参加を促している。内部研修については、主要な項目については、研修を行っている。		
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	取組みまれてはいない。		市内の関連する施設と連携して、現場研修を行っていきたい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	業務上で困っていることを議題とし、管理者と1人ずつ面談を行っている。ストレスがたまらない様、内容によっては改善に向けて取り組んでいる。		
22		向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	管理者より、職員の働きぶり等報告している。		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	面談にて、困っていること等聞くようにしている。ただ、面談から入居までの間の日数が少ないため、なかなか会う機会がない。		新しい環境の為、混乱を少しでも軽減できるよう、面談から入居前まで、なじみの関係作りができるよう心がけたい。
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	見学・申込の際に、情報収集し、現在困っていることや、入居後不安に思っていることなど聞くようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>病院退院後、すぐ入居させたいと希望があったが、対象者が入居を拒んでいるとのことで、面談等していない状況で入居させても、かなりの混乱が生じること等を説明し、居場所が確保できるまで病院で過ごせるようにケースワーカーに依頼してはどうかと提案した例がある。</p>		
26	12	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>利用対象者に一度見学に来てもらい、雰囲気等を十分に感じてもらうから、入居できるようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>会話の中で若い頃の話や、その頃の社会事情を知る事もあり、学んでいる。(利用者さんの趣味や嗜好も含め理解できる)</p>		
28		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族に話をする時は、問題点ばかりではなく良い所も伝えるようにしている。又、家族との関係がより良いものになると、利用者さんへの理解も増し、より良いケアにつながってくる。</p>		<p>なかなかお会いする機会が少ない家族の方もいる為、時間をかけて関係を築いていく必要がある。</p>
29		<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	"		"
30		<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>手紙や電話など要請があった場合は、そのように支援している。又なじみの場所や人物については、会話の中で登場することが多い。話を傾聴する等し、対応している。</p>		<p>認知症の進行や、なじみの方の都合により、以前より減少している場合もある。</p>

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者さん同士コミュニケーションがとれるように、リビングの席を移動したり、職員が間に入ってコミュニケーションのお手伝いをしています。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	ほとんどの退去者した方は、病院や他の施設が居場所の為、継続的な関わりを必要とすることがない。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	実施している。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族の方の協力や利用者さん本人と話を聞いたりし、把握するよう努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	利用者さんの現状を把握し、1人ひとりの過ごし方を心身ともに見ながらケアしている。		ケアの統一や心身の状態等、職員間での情報交換やミーティングでの話し合いで明確にする。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	日常生活の中で、利用者さんの希望等を聞くように心がけている。家族の来訪時には、日々の状況を伝えると共に、お気持ちを持っていく。ケアプラン作成前には、ケアカンファレンスを開催し、意見を出し合い作成している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	短期目標を3ヶ月で作成していたが、生活が安定されている場合は6ヶ月で作成している。しかし体調に変化が見られた時には、現状を把握して、ケアカンファレンスを開催し、利用者さんと家族の方のお気持ちを伺いながら、現状に合ったプランを作成している。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護記録、温度表、体重表、ケアチェック表、受診記録等を、介護計画書作成の見直しに活かしています。本年10月より家族連絡表としてファイルを1つ増やし、家族との関わった内容を記録し活用している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	利用者さんと家族より、リハビリ的なことを希望されたため、本年1月より筋力低下を予防する体操を毎日実施している。その事により肩こり等改善された利用者さんもいた。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	利用者さん本人の意向では特に実施した例はない。		地域との交流として、ボランティアさんに来てもらい、共通の楽しみを過ごせるように今後は工夫したい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	特にない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	入居相談の際にて協働は行っている。		今後は定期的な運営推進会議を実施し、更に協働を行っていききたい。

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	18	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	往診や受診にて、利用者さんの体調の変化等報告している。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	必要な場合専門医との連携をとり、受診治療を行い病状の緩和を図っている。		
45		看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師の資格と経験を持つ職員がいるので相談している。又は往診を行っているため、往診担当の看護師さんに相談し、受診や経過観察を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	担当医とのムンテラを行っている。入院中はできるだけ様子を見に行くようにはしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	現段階から悪化した場合の説明、改善策等病院や、家族と一緒に相談している。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化ではあるが、利用者さんがここでの生活を望まれる場合、医療処置などここでは行えないことを、訪問看護で補える環境を作れるように、家族や病院、訪問看護と相談している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49		住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	ここでの生活状況の報告や、支援における注意点など情報を知らせている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	大半は自尊心を大事にし、思いやりを持って対応しているが、本人の拒絶が強すぎる場合、言葉賭け等に配慮を要する場合が見受けられる。		利用者さんが不快に思わないよう、職員の声のトーンや利用者さんの気持ちも配慮して対応していきたい。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	説明は簡潔にし、利用者さんが理解されているのをきちんと確認して決めてもらうようになっている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一方的な判断はせず、利用者さんのその時の表情等を感じ取りながら、スムーズに行動に移せるようになっている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ほとんど利用者さんは訪問にて定期的にかットしてもらっている。1名はなじみの美容室へ定期的に通われている。普段の衣類や化粧等は、利用者さんらしさを継続できるよう対応している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	決められた献立を作るだけでなく、利用者さんの嗜好に合わせて対応している。調理は一部の利用者さんに限られるが、少しでも以前の記憶を蘇らせるようにし、できることはやって頂けるよう対応はしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	タバコは安全に吸ってもらうよう場所の確保、管理は職員が行っている。お酒も希望によって行事等で用意している。		利用者さん・家族・かかりつけのドクター等と相談しながら、なるべく利用者さんが満足できる支援を工夫したい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	自力排泄ができるように支援している。排泄の失敗のある利用者さんには、時間で声かけ・誘導を行っている。		
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	なるべく利用者さんの希望を聞いて入浴してもらっている。週2回入浴を目指している為、間があいている時は、なるべく入浴してもらえるようにしている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	その人その人の生活パターンを大事にし、安心して生活してもらえるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	調理や掃除等参加してもらい、役割や機会を作っているが、全員ではない。		利用者さん一人ひとりに合った役割や気晴らしができるよう支援する。居室で過ごす方が多いので、ペースを崩さず、かつリビング等で他の利用者さんと過ごす時間を作るなど工夫する。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自分で管理している利用者さんはいるが、ほとんど使用していない。		自分で決めて買う楽しみや、お金の大切さを再認識してもらえるよう支援する。

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう支援している。	暖かい日はこちらから声をかけ、散歩に行ったりしているが、出 かけない利用者さんもいる。		出かけない利用者さんはなぜ行きたくないのか、自発的に行き たくなるように工夫したい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるい は他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援して いる。	できるだけ利用者さんの行きたいところは、職員または家族の 協力のもと、行けるようにしている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りが できるように支援をしている。	2～3名の利用者さんが希望している。出来るだけ最近の近況 報告をしながら、一緒に電話等で関われる支援をしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽 に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	訪問時は居室で利用者さんとお茶を飲んで頂く様にしたり、遠 方からの家族には一緒に食事を摂ってもらったり工夫はしてい る。		
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止 の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をし ないケアに取り組んでいる。	資料を使い、全職員に資料を読んだのレポートを提出。身体拘 束委員会メンバーは全職員。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの 弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関は朝の7時くらいから夜19時くらいまでは鍵を掛けていな い。居室やトイレの鍵を利用者がかけてしまうことがある が、コインで開けて中の様子を確認している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67		利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	実施している。		確認だけではなく、一緒に話す時間を更に作る。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	利用者さんの私物で危険なもの判断した場合は、預かったり、家族へ返却している。洗剤や包丁等職員が扱うものは、不十分なところがある。		刃物類は施錠できる場所へ保管したり、洗剤も利用者さんの手の届かないところに保管する等工夫したい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	定期的に学ぶ機会を持っていない。また転倒や窒息などヒヤリハットで改善点などを出してはいるが、継続はできていない。		継続できるように、定期的に学ぶ機会を、外部や内部研修にて行う。
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	急変時は、マニュアル通りに動いているが、職員ができる応急処置は簡単なものに限られている。		資料だけではなく、研修で実際に学ぶ機会を設ける。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練は今年10月に実施済み。今後は年2回実施できるようにする。		今回は職員だけで避難させたが、本当に火災になったら、施設側だけでは間に合わない為、いつでも近所の方も協力してもらえるように、今後は参加してもらいたい。
72		リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	実施されている。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日バイタル測定の実施。異変に気付いたら、バイタル・経過観察や受診にて対応している。		
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	9名分の多種多様な薬の目的や副作用は理解するのは困難であるが、自己で調べる、薬剤師さんに聞く等対応している。新しく処方された薬には、特に注意点等確認はして理解するようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけに取り組んでいる。	ひとりひとりの排便の確認は十分とは言えないが、便秘になりやすい利用者さんなどは、よく確認し、水分や運動等を勧めている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	自力にて行う利用者さんには、特に確認はしていない。介助が必要な利用者さんには、声かけや誘導または指導を行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	定時(毎食・服薬・おやつ等)の水分補給時は、残さず飲んで頂けるよう声かけている。それでも足りない利用者さんには更に勧めている。また水分の摂りすぎにも配慮している。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	利用者さん・スタッフ共に毎年インフルエンザ予防接種実施。その他感染症に関しては、下痢・嘔吐・発熱が生じた段階で受診。春に数名同じ症状が出た際は、保健所に報告・相談してきた。		内部研修を定期的実施する。

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>毎食時台所の衛生に気をつけている。また調理器具や冷蔵庫の消毒を行っている。食品の日付を付けている。業者より届く食品で傷みがあるものは、きちんと報告をし、交換してもらっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>近隣との距離が無い為、建物周辺の工夫は難しいが、少ないスペースで花を植えたり、ベンチを設置する等している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者さんの身体・精神のその時の状況に合わせ動きやすいよう配慮している。季節等により飾り付けを行っている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>限られた環境の中で、工夫をするようにしている。</p>		
83	30	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者さんや、家族と相談しながら居室の整理等を行っている。</p>		
84		<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>温度調整・換気等配慮している。匂い等気になる時には、消臭剤等を使用し気をつけている。</p>		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>食事の際使用する椅子や自室のベット等、本人の起居、立位、座位動作を把握した上で、身体動作を把握し、身体動作に合わせて工夫・調整している。</p>		
86		<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>共同使用のトイレにも大きく張り紙をし、「トイレに入っている」「空いている」の札を掛け、トラブルの防止に努めている。各居室に表札を付けているが、それでも自室がわからなくなる利用者さんの居室には、更に見やすく目印や貼紙をし、対応している。</p>		
87		<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>近隣の公園での花壇作り。町内の散歩等実施している。玄関先にベンチを設置し、日向ぼっこしながらコミュニケーションを図っている。</p>		<p>11月に近くの公園に花壇が完成し、来春にはたくさんのチューリップが咲く予定。毎年いろんな花を育てていく予定となっている。</p>

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 印欄 (該当する箇所の番号の左横に 印をつけること)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

施設周りに自由に使える土地が無い為、市役所の緑園課に依頼し、補助金を頂き、近所の公園に施設が管理する花壇を秋に設置しました。今年は球根植えだけでしたが、今後はきちんとした管理ができるようになり、利用者さんの楽しみごとができると思います。